

たうん とびっくす

まちの話題や出来事をご紹介します

長 ▶ 協定書を持つ小田取締役管理本部長（右）と田中市長（左）。



災害時、迅速に物資を調達

市と株式会社ジュンテンドーは、7月27日に災害救助物資の調達に関する協定を締結しました。この協定締結により、災害時には日用品、作業用品などの必要な物資を調達することが可能となります。

同社の小田恭司取締役管理本部長は「近隣の弊社大型店舗には、災害用のブルーシートや土嚢袋などを備蓄しています。弊社のネットワークを活用し、迅速に支援が行き届くよう取り組んでいきたい」と話していました。

け ▶ 松浦所長（右）から感謝状を受取る嶋田さん（左）。



地域と行政をつないで20年

20年の長きにわたり行政相談員として活動してきた嶋田律子さんに、7月28日、島根行政監視行政相談センターの松浦弘年所長から総務大臣の感謝状が手渡されました。

月に一度、安来中央交流センターで開設する行政相談所で、相談者からの行政への要望・照会や民事にかかわるものなど、20年で100件を超えるさまざまな相談に対応してきた嶋田さん。「行政の方や周りの方に助けをもらいながら続けることができました。皆さんの力をお借りできたおかげで感謝状をいただけたと思います」と話していました。

今月の一枚



夏を感じるヒマワリ畑。県道安来伯太日南線を走っている途中で発見。約1ヘクタールの畑で暑さに負けず大輪の花を咲かせていました。

7月26日：九重町

祝山佐ダム40周年 市長日記

洪水等に対する治水面の向上と水道水の供給など、本市の安心・安全なまちづくりに寄与してきた山佐ダム。40周年を記念して、式典が同ダムキャンプ場で開催されました。

同ダム関連施設を管理運営する山佐ダム体験交流施設管理組合を中心に、今後も地域や観光客の憩いの場として親しまれる施設であり続けることを期待しています。



◀ 関係者約60人が参加し、功労者表彰などが行われました。



このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック」で公開しています。



7月13日には観光関係者による試走会がありました。



自転車で巡るやすぎ旅

レンタサイクルを使って観光を楽しんでもらおうと、このほど、市観光協会が「安来ぶらりチャリ」を始めました。JR安来駅で借りることができる自転車を使って市内の観光地や町並みを巡るこの企画。同駅発着の「安来町並みコース」と「中海と歴史のコース」の2つが用意され、十神山なぎさ公園や旧家の町並み、和鋼博物館などを楽しめます。

同協会の門脇修二事務局長は「自転車でまちを巡り、ゆったりとしたひとときを過ごして安来の魅力を再発見してもらえれば」と話していました。

手話で会話をしてみよう

聴覚障がいへの理解を深めてもらおうと7月11日、「初めての手話教室」を安来中央交流センターで開催しました。

10人の受講者は、聴覚障がいのある人がどのような暮らしをしているか話を聞いた後、あいさつや自己紹介の手話を学びました。外見からは障がいがあることが分かりにくいので、「見えない障がい」と言われている聴覚障がい。障がいのある人もない人も暮らしやすい社会をつかっていくためには、一人一人の理解が必要です。



実際に何度も手を動かして覚えていきます。

労働課題の解決に向けて

雇用や労働に関する課題に共同で対応していくため、市と島根労働局は、雇用対策協定を締結。7月21日には、締結式を市役所安来庁舎で行いました。

この協定によって、産業振興や雇用の創出、若者への就職支援などの取り組みを連携して進めていくことになります。

倉持清子島根労働局長は「変化の激しい時代ですので、行政の施策はスピード感を持って計画的に進めなければなりません。今後、連携を強化して、安来市の労働環境整備に、より一層力を入れていきたいです」と話していました。

田中市長（右）と倉持局長（左）と



表彰状を持つ曾我さん（左）と福島さん（右）。

長年のスポーツ振興を表彰

スポーツ振興への功績を称えて、安来市体育協会功労者表彰式が7月27日、市役所安来庁舎で行われました。

今年度表彰されたのは、曾我^{そがとみよし}富義さんと福島^{きよし}清さん。曾我さんは、長年にわたり剣道の普及活動や子どもたちへの指導を行うなど、剣道振興に貢献した点、福島さんは、グラウンドゴルフの普及部役員や指導員として、長年積極的に普及活動を行った点がそれぞれ評価されました。

二人には、同協会会長を務める伊藤徹副市長から表彰状と記念の盾が手渡されました。

